

食育だより

令和 6 年 10 月
船橋市立飯山満中学校

～10月30日は「マナーの日」です～

「マナーの日」は、2008 年に NPO 法人日本サービスマナー協会が制定しました。ビジネスマナー、一般マナーなど、あらゆる場面において必要不可欠な「マナー」について見直し、生活に役立ててもらうことを目的としています。マナーは、相手への思いやりの気持ちがあらわれたものです。食事においても、食器の持ち方や姿勢、話す内容などに気を配り、みんなで楽しく食事ができる工夫を考えてみましょう。

今月の目標

食事マナーを守って食べよう！

◇◇◇ 食事中に気をつけてほしいこと ◇◇◇

食事マナーはかた苦しいものではなく、家族や友だちとみんなで一緒に楽しく食べることができるように、1 人ひとりが気をつけてほしいことです。

食事のあいさつ



「いただきます」や「ごちそうさま」は感謝の気持ちをあらわしています。

姿勢



いすに深く腰かけ、背筋を伸ばして足を床につけて食べます。

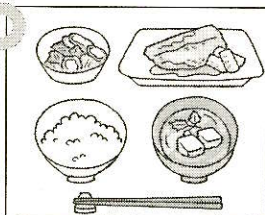
スマホは見ない



スマホに夢中だと会話を楽しめません。食事中は見ないようにします。

和食の

食器の並べ方



ごはんが左側、汁物は右側、おかずはその奥におきます。はしは手前に、はし先を左に向けておきます。

弁当の場合

主菜

(肉、魚、豆腐など)

主食

(ご飯、パン、麺)

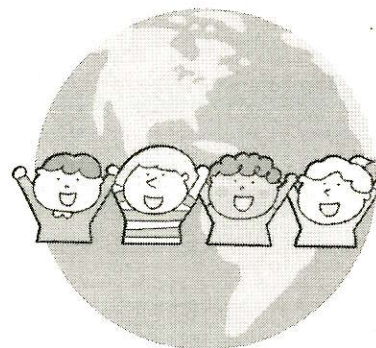
お弁当の場合は、手前に主食がくるようにおきます。

姉妹都市提携 35 周年記念！

「学校給食で食べよう デンマーク・オーデンセ市」

友好都市提携 30 周年記念！

「学校給食で食べよう 中国・西安市」



令和 6 年度は、船橋市とデンマーク・オーデンセ市との姉妹都市提携 35 周年、中国・西安市は友好都市提携 30 周年記念にあたります。その記念事業の一環として、船橋の子どもたちに、学校給食を通じてオーデンセ市と西安市をそれぞれを身近に感じ、興味や関心を持ってもらうため、両都市でよく食べられている料理や食材を使った周年記念給食月間「学校給食で食べようオーデンセ・西安」を実施します。

オーデンセ市はどんな街？

オーデンセ市は、有名な童話作家、H.C アンデルセン生誕の地として知られる都市です。昭和 59 (1984) 年 11 月、オーデンセ市長一行が自治体のコンピューター高度利用の視察で船橋市を訪れたのをきっかけに、平成元 (1989) 年 4 月に姉妹都市提携が調印されました。

給食では 10 月 4 日の B 献立に「エーブルフラッシュ」が登場します。塩で下味をつけ、1 cm ほどの厚さに切った豚肉を揚げ、もしくは焼いたものに玉ねぎとりんごのソテーを合わせていただく料理です。

西安市はどんな街？

西安市は、3100 余年の歴史を持つ古都で、シルクロードの起点として三蔵法師が旅を始めた場所としても有名です。西安市と船橋市との交流は、昭和 57 (1982) 年に西安市代表团が、船橋市の商業施設視察をきっかけに始まり、囲碁や気功をはじめとする両市民同士の力強い交流が続けられ、平成 6 (1994) 年 11 月に西安市と「友好都市提携」を調印しました。

給食では 10 月 11 日の A 献立に「油淋鶏」、22 日の B 献立に「ビャンビャン麺風肉みそソース」が登場します。ビャンビャン麺は西安市のある陝西省 (せんせいしょう) の郷土料理になります。